



# いきいき まちタウン

まちで起こった出来事や気になるあの人を紹介します

まちなかに飾られた短冊（北勢町阿下喜）

## 石、泥、藻など川の環境が育む

# 生きものを調べよう

6月17日（木）、十社小学校の5年生が田切川に生息する水生生物の調査をしました。

自然学習室職員の土岐竜馬さんに捕り方のコツを教わった児童たち。冷たい川の水と滑る石に苦戦しながら、夢中で網をすくい上げて何度もチャレンジ！

魚や虫など約20種類を採集して学校に持ち帰り、1種類ずつ生態を教わったり、生息場所に分類したりしました。

児童たちの感想には「カワヨシノボリを捕まえようとしたら逃げられて悔しかった」「たくさんの虫や魚がいることがわかった」などがありました。土岐さんは「いろんな生物に興味を持って調べてみてほしい」と話していました。



1.「楽しい！」何も捕れない子もみんなうれしそう。最後には服もズボンもすっかりズブぬれ 2.見て見て魚が捕れたよ！ 3.「僕はこれかな」調べてみたい生きものベスト3を選ぶ

## 税金は何に使われているの？

# 税について学ぶ授業

6月23日（水）、藤原小学校で市の税務担当職員による「租税教室」がありました。この授業では毎年6年生に、税金は何のためにあるのか、どんなことに使われているのかを伝えています。

授業では消費税を例に、買い物を通じて納めた税金が何処へ行くのかなど、イラストやクイズを使って解説。みんなの生活のために使われていることを学びました。また、小学校が数億円の税金を使って建てられたことを知り、驚いた様子でした。

「ビデオや図を使っていて、とても分かりやすかった」「税金は大切。ちゃんと払うようにします」と感想を話してくれました。

1,2. 税金の仕組みに興味深々。挙手をして積極的に授業に参加 3. ケースに入った1億円の重さを体験



## 世界の強豪に挑戦！！

# 岩野夏帆さん表敬訪問

7月7日（水）、2020東京オリンピックの水球日本代表に選ばれた大安町出身の岩野夏帆さんが、市長を訪問しました。小学生のときに水球を始めた岩野さんは、高校・大学と県外の学校で競技に取り組み、実力をつけてきました。チームでは主に守りの中心を担い、日本人選手の中では恵まれた体格をいかして世界のプレーヤーと戦います。

日本代表に選ばれた意気込みを聞かれ、「一つもひるむことなく、同じグループの中国に勝ちたい」と話していました。



岩野さんと市長

## まるで過去にタイムスリップ

# 旧阿下喜駅舎を復元



平成18年に解体された三岐鉄道北勢線「阿下喜駅」の旧駅舎が、当時の形をそのままに、阿下喜の町中に復元されました。復元したのは、ASITA（北勢線とまち育みを考える会）の代表安藤たみよさん。なんと、旧駅舎の解体時に材料の一部を譲り受け、長年自宅に保管していたそう。当時の写真や図面を参考にしながら、夫の信之さんと1年がかりで建設しました。建物内には、鉄道模型やジオラマなどが展示されており、展示品は今後も増えていく予定とのことです。訪れた人は、過去に戻ったかのような駅舎内を懐かしみながら観覧していました。



1. 解体される前の旧阿下喜駅舎 2. 街の活性化を思い復元されました 3. 解体当時の状況のまま復元された売店で取材に応じる安藤たみよさん



## 天気は雨でも笑顔は晴れやか

# 七夕会



7月7日（水）、市内の多くの保育園で七夕会が行われました。丹生川保育園では、年少から年長までの園児が、七夕の絵本を読んだり、童謡を歌ったりして楽しく過ごしました。宝さがしゲームでは、部屋の中にかくされた星形の紙を、園児たちが探します。見つけた星はみんな部屋に飾りつけて、キラキラ輝く天の川が完成しました。



また、園に飾られた七夕飾りは、園の近くの敷地に生えている竹をもらって、園児たちが運んできたそうです。将来なりたい職業や、いつかやってみたいことなどの願い事が短冊に書いて飾られています。



1,2. 星を見つけて、自信満々の子どもたち。部屋に飾り付け 3. みんなで手作りした七夕飾り 4. 絵本で彦星と織姫の物語を。この日は雨で、みんな心配していました